

14. 早生の青ナシ品種「なつしずく」の特性

1. 背景とねらい

広島県のナシは、県中北部を中心に「幸水」、「豊水」、「二十世紀」などの品種が栽培されている。しかし、市場販売価格の低迷から産地は盆前需要による高値で販売可能な新品種を模索している。そこで、独立行政法人 果樹研究所で育成された、早生の青ナシである新品種「なつしずく」の特性を明らかにする。本品種は、夏に採れるみずみずしいナシをイメージして平成17年9月に命名登録された。

2. 成果の内容

- 1) 交配親は、（「幸水」×「菊水」）×「筑水」で、系統番号「筑波50号」として平成13年から地域適応性について検討した。
- 2) 成熟期は、「幸水」より約一週間程度早い（安芸津では8月上中旬）。
- 3) 成熟期の果皮色は、黄緑色である。
- 4) 果実重および糖度は、年次により差はあるが幸水と同程度かやや優れる。
- 5) 果肉に、わずかながら特有の香気がみられる。
- 6) 心腐れの発生はほとんどみられない。
- 7) 無袋栽培しても、果面のサビの発生は少ない。

3. 普及上の留意点

- 1) 収穫が早いとデンプン臭があり、遅れると食味が劣ることから、収穫適期幅は短いので、適期収穫に留意する。
- 2) 無袋でも果面のサビ症状がほとんどみられないため、果実の袋掛け作業が省力できる。
- 3) 自家不和合性であり、受粉が必要である。
- 4) 黒斑病抵抗性である。
- 5) 裂果は、果実肥大後期に「幸水」に比べて多くみられることがあり、「幸水」に準じた注意が必要である。

（落葉果樹研究室）

4. 具体的データ

表1 ナシ「なつしずく」の特性

品種	年次	樹齢 ^{z)} (年)	満開期	収穫中央日	果実重 (g)	糖度 (Brix)	心腐れ
なつしずく	2005	6	4月18日	8月16日	401	13.7	無
	2004	5	4月10日	8月8日	341	12.8	無
幸水	2005	6	4月17日	8月20日	373	12.7	無
	2004	5	4月10日	8月14日	369	12.7	多

z) 2005年は、結実4年目。調査本数：2樹。台木：マンシュウマメナシ。

試験場所：東広島市安芸津町



写真1 ナシ「なつしずく」の着果状況